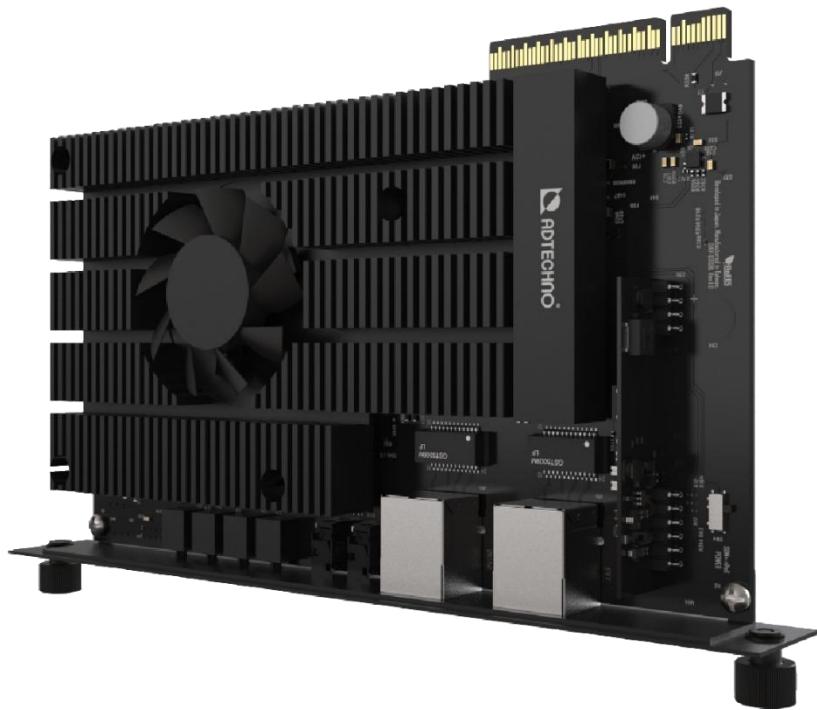




Dante AV Ultra スマートディスプレイモジュール

## DAV-03SBL 取扱説明書



Ver.1.0

## 改定履歴

バージョン	日付	変更点
Ver.1.0	2025/11/7	初版

## 安全上のご注意

この度は、DAV-03SBL をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。

本製品をご利用になる前に必ず本書をお読みになり、内容をご確認のうえでご利用ください。本製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる方や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するために守って頂きたい事項を示しています。

## 安全にお使いいただく為に

誤った取扱いをした場合に生じる危険と 本取扱説明書内に使われている記号その程度を次の区分にて説明します。(例)の意味は下記の通りです。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症に結びつく可能性があるもの。	 メモ	操作に関するヒントまたは追加情報です。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをしたときに軽傷または建築物・財産などの損害に結びづくもの。		



- 本取扱説明書で記載されている以外の使い方をしないでください。本書の指示に従わずに起きた、いかなる事故・損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
  - 本製品は屋内での使用に限ります。
  - 本製品は直射日光にあたる場所や、冷暖房機器の近く、温度の高い所(結露しているところ)、ほこりや油、薬品、水などがかかる場所には設置しないでください。
  - 本製品は対応スロットに挿してご使用ください。落としたり、ぶつけたりするなどの衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。
  - LAN ケーブルや IR ケーブルなど、ケーブル類を抜き挿しする場合は、必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張って抜いたりすると、ケーブルの断線、動作不具合、感電や火災の恐れがあります。
  - 濡れた手で、本製品およびケーブル類を触らないでください。感電や故障の恐れがあります。
- 機器内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などからないようにご注意ください。感電や火災の恐れがあります。上記の状態になった場合はすぐにご使用を中止してください。
  - 使用中に本体から煙が出たり、異臭・異音等が発生したりする場合は、本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。機器の故障や感電、火災などの恐れがあります。
  - 本製品を分解・改造されると保証の対象外となりますのでご注意ください。
  - 電源を入れたまま、IR ケーブル、LAN ケーブルの抜き差しを行わないでください。故障の原因になり、この原因による故障はサポート対象外となります。
  - LAN ケーブルをご利用の際はケーブルの剥き長さにご注意ください。ノイズの原因となり、通信を大きく阻害します。
  - LAN ケーブルを束巻き状態で使用すると伝送に影響が出ることがございます。伸ばした状態でご利用下さい。
  - 本製品の上に重い物を置かないでください。

 注意

- 本製品の冷却ファンを塞がないようにしてください。排熱がうまくいかずに故障する恐れがあります。
- 冷却ファンに埃が溜まってしまう場合は、定期に掃除してください。
- お手入れの際は、接続ケーブルをすべて抜いてから行ってください。
- 化学雑巾、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。変色や変形、故障の原因になります。水洗いは絶対に行わないでください。お手入れの際、乾いた布をご利用ください。

 注意

- 長時間ご使用にならない場合は、安全のためケーブル類を全て抜いて、ディスプレイやプロジェクターから外して保管してください。
- 本製品を譲渡された場合、または中古品に関してのサポートは致しかねます。
- 外部的な要因(破損や水没、漏電、過電流など)や、天災などによる故障破損は、サポート対象外です。
- 本製品を廃棄するときは、各自治体の条例に従ってください。内容については、各自治体へお問い合わせください。

※製品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

## 目次

改定履歴	2
安全上のご注意	2
製品概要	7
はじめに	7
Dante AV Ultra とは	7
Intel SDM とは	7
コーデックについて	8
Dante 用ネットワークスイッチ要件	8
推奨ネットワークスイッチ	8
PoE 電源供給計算	9
マルチキャスト通信帯域幅	9
設置方法	10
各部名称	11
DAV-03SBL	11
前面	11
ボード面	11
接続ケーブル	12
LAN ケーブル	12
IR 送/受信ケーブル接続	12
本体操作	13
電源を入れる/切る	13
Dante Controller ソフトウェア	14
概要	14
ダウンロード先	14
ネットワークインターフェースの選択	15
デバイス検知	16
Device Info	16
ルーティング	17
デバイス詳細設定	19
デバイステータスの確認	19
マルチキャストフローの設定	20

デバイスの各種設定変更.....	21
IP アドレスと DHCP 設定 .....	22
WEB GUI 設定 .....	23
WEB GUI 設定 .....	24
概要 .....	24
ログイン方法.....	24
デコーダ設定 .....	25
HDMI Output .....	25
Video wall.....	27
Fast Switching .....	31
共通設定.....	32
System information.....	32
Serial.....	33
USB .....	34
Alarms.....	34
License .....	34
Upgrade.....	34
よくある質問 FAQ .....	35
サポート専用問い合わせ先 .....	36
主な仕様 .....	36
外形寸法 .....	37
対応フォーマット一覧.....	37
SDM.....	37
オプション .....	38
専用 IR 送受信ケーブル(送受信セット).....	38

## 製品概要

DAV-03SBL は、Intel® Smart Display Module 規格(以下、Intel® SDM)に対応した革新的な Dante AV Ultra スマートディスプレイモジュールです。Intel® SDM 対応ディスプレイやプロジェクターに直接装着でき対応ディスプレイやプロジェクターを即座に Dante AV Ultra 対応機器へとアップグレードし、外付けのデコーダやマトリクススイッチャー、埋込ボックスを必要とせず、ケーブリングやシステム構成を大幅に簡素化します。

加えて、デイジーチェーン接続を可能にするデュアル Ethernet ポートを搭載し、複数ディスプレイの同期ビデオウォールを外部プロセッサなしで構築できます。

Intel® SDM の拡張性と Dante AV Ultra の信頼性を融合させた次世代の AV over IP ソリューションとして、教育現場、放送局、企業、イベント、エンターテインメント＆アミューズメント分野など、将来を見据えた AV システム導入に最適です。

## はじめに

### Dante AV Ultra とは

Dante AV Ultra は、あらゆる場所でネットワーク化されたオーディオ＆ビデオ信号を管理、配信するためのシンプルでスケーラブル、相互運用可能なプラットフォームです。ProAV の用途では、複雑なグラフィカルコンテンツの高品質を保つことが大きな課題となります。新しい Colibri コーデックは、この課題を解決するために設計されており、1GbE 環境で 4K60 の高品質なグラフィカルコンテンツをスムーズに配信できます。Dante AV Ultra は、この最適化されたコーデックを搭載しており、あらゆるグラフィカルコンテンツを視覚的にロスのない状態で正確にエンコードします。

\* 相互運用性には、エンコーダとデコーダの両方で使用されるビデオコーデックの一貫性が必要です。

### Intel SDM とは

Intel® SDM は、Intel® が提供する商業用ディスプレイやプロジェクター向けに標準化された次世代スロット規格です。従来の OPS(Open Pluggable Specification) 規格を進化させ、よりコンパクトかつ高性能なモジュール化を実現しています。

Intel SDM には「Intel® Smart Display Module Small(以下、Intel® SDM-S)」と「Intel® Smart Display Module Large(以下、Intel® SDM-L)」の 2 つのサイズがあり、対応するディスプレイやプロジェクターに装着するだけで、機能拡張を容易に行うことができます。

## コーデックについて

DAV-03SBL では以下のビデオコーデックに対応しております。

対応ビデオコーデック

Colibri

※相互運用性を確保するためには、エンコーダとデコーダの両方で同じビデオコーデックを使用する必要があります。

## Dante 用ネットワークスイッチ要件

### 必須要件

- 1GbE マネージドスイッチ
- マルチキャスト機能
- IGMP スヌーピングおよびクエリア機能
- イミディエート・ファストリーブ
- QoS(Quality of Service)

詳しい要件は Audinate 公式ページにてご確認ください。

<https://www.getdante.com/ja/resources/>

## 推奨ネットワークスイッチ

- NETGEAR 製 M4250 シリーズ(PoE+ 対応モデル)

詳細は NETGEAR 公式ページにてご確認ください。

<https://www.netgear.com/business/av/>

## PoE 電源供給計算

各デバイスの消費電力は下記の通りです。ポートごとに十分な電力を供給できるネットワークスイッチをご利用ください。

DAV-03SBL

約 12W

## マルチキャスト通信帯域幅

マルチキャスト通信で使用する帯域幅は下記の通りです。帯域幅を考慮し、マルチキャストシステムの設計を行ってください。（エンコーダ側の設定にてエンコード時の最大帯域幅を指定することが可能です。設定方法はエンコーダ側の取扱説明書をご参照ください。）

4K 映像信号伝送時	1080p 映像信号伝送時
最大 700Mbps	最大 300Mbps

### ご注意

全てのデバイスを同一 VLAN 内にて運用してください。異なる VLAN 間の通信には対応しておりません。

## 設置方法

### SDM-L 対応製品へ DAV-03SBL を入れる手順

1. 接続する SDM 対応機器の電源がオフになっていることを確認してください。
2. スロットのガイドに沿って DAV-03SBL をゆっくり挿し入れてください。
3. DAV-03SBL の前面と SDM 機器間の隙間が埋まるまで押し込んでください。
4. DAV-03SBL の前面に搭載されたネジをしっかりと締めてください。

### SDM-L 対応製品から DAV-03SBL を抜き出す手順

1. 接続された全ての機器の電源がオフになっていることを確認してください。
2. 接続されたケーブル類を外してください。
3. DAV-03SBL の前面に搭載されたネジを外してください。
4. ネジを持って、スロットから DAV-03SBL をゆっくり引き抜いてください。

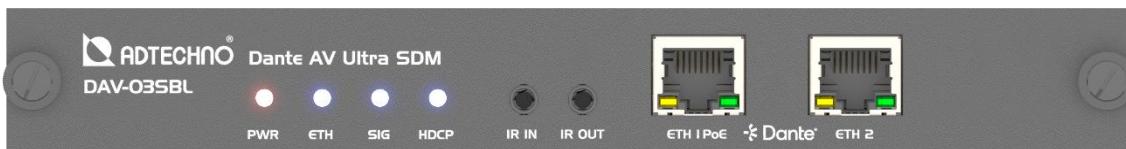
#### ご注意

- Intel® SDM-L 対応ディスプレイ、またはプロジェクターへ装着してください。
- DAV-03SBL を抜き差しする場合、必ずディスプレイまたはプロジェクターの電源を OFF にしてください。
- 各機器の取扱説明書を必ずご確認の上、手順に沿って設置してください。

# 各部名称

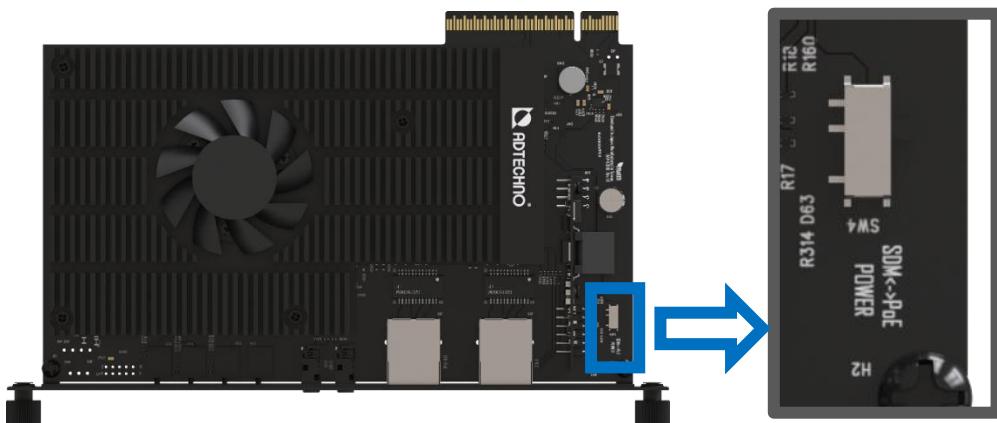
## DAV-03SBL

### 前面



表示		説明
LED インジケーター	PWR	電源インジケーターです。起動すると赤色に点灯します。
	ETH	イーサネットインジケーターです。RJ-45 が ETH1 または ETH2 に接続されると青色に点灯します。ビジー状態では紫色に点灯します。接続が無い場合は赤色に点灯します。
	SIG	ビデオシグナルインジケーターです。映像信号が通信されていると青色に点灯します。ビジー状態では紫色に点灯します。映像信号が無い場合は赤色に点灯します。
	HDCP	HDCP インジケーターです。HDCP 1.4 信号が入力されていると青色に点灯します。HDCP 2.2 信号入力時は紫色に点灯します。HDCP 暗号化されていない時は消灯します。
IR IN		<a href="#">IR 受信ケーブル(別売り)</a> を接続します。必ず電源を切った状態で抜き差ししてください。
IR OUT		<a href="#">IR 送信ケーブル(別売り)</a> を接続します。必ず電源を切った状態で抜き差ししてください。
Dante ETH 1 PoE		PoE(IEEE 802.3af)対応 RJ-45 ポート(Dante AV Ultra)です。 PoE/SDM ホストの受電選択については <a href="#">ボード面</a> をご参照ください。
Dante ETH 2		デイジーチェーン用 RJ-45 ポート(Dante AV Ultra)です。 PoE には対応しておりませんので、デイジーチェーン接続する機器には別途電源供給方法をご用意ください。(例:DAV-03SBL の場合は SDM ホストからの受電設定にしてください。)

### ボード面



表示		説明
POWER SDM↔PoE		電源モード切替用スイッチです。ボードに電源が投入されていない状態でスイッチを切り替えてください。*SDM モード時は SDM 起動シーケンスに従って動作します。PoE モード時は電源を投入したタイミングでボードを起動します。 SDM モード:SDM ホスト(ディスプレイヤやプロジェクター)及び PoE の両方から電源を受け取ります。SDM ホストと PoE 間の電源切替はシームレスに行われます。 PoE モード:ETH1 ポートから PoE 電源を受け取ります。

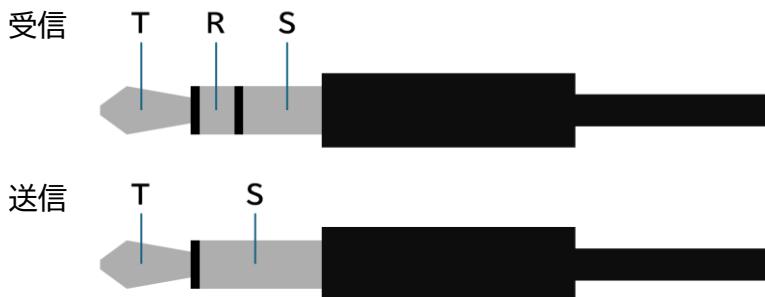
## 接続ケーブル

### LAN ケーブル

本機は Cat5e/6 以上に対応しています。LAN ケーブルは、Cat6 以上を推奨します。また、正しい RJ-45 ピン構成で終端してください。LAN ケーブルは「ストレート」(ピン対ピン)、EMI 電磁干渉の影響を受けにくい T568B 結線規格で配線することを推奨します。LAN ケーブルを敷設する際には、できるだけ高品質な LAN ケーブルを採用することをお勧めします。

### IR 送/受信ケーブル接続

[IR 送受信ケーブル\(別売り\)](#)を本機の IR IN/OUT 端子に接続し、ご利用ください。また IR ケーブルの抜き差し時は必ず電源を切った状態で行ってください。



ピン	送信(OUT へ接続)	受信(IN へ接続)
T	Signal	Signal
R	-	GND
S	GND	5V

## 本体操作

### 電源を入れる/切る

本機への電源供給方法は Intel SDM ホスト側(ディスプレイまたはプロジェクター)からの自動電源供給または、PoE を使用する方法があります。電源供給方法はボード上の切り替えスイッチで設定可能です。

#### ご注意

本機には IEEE 802.3af に非対応の PoE 電源供給機器は絶対に使用しないでください。故障の原因になる場合があります。

本機の電源を入切する時は、接続する機器の音量を最小に下げてください。

#### 電源を入れる手順

1. 本機に接続するすべての機器の電源がオフになっていることを確認したうえ、LAN ケーブルや IR ケーブルの接続を行います。
2. ソース機器の電源を入れます。
3. 本機への電源供給を開始します。

SDM ホストから給電をする場合、ディスプレイ/プロジェクター機器の電源を入れます。

PoE から給電をする場合、ネットワークスイッチの電源を入れます。

#### 電源を切る手順

1. シンク機器 → ソース機器の順に電源を切ります。

本機への 電源供給を終了します。

SDM ホストから給電している場合、ディスプレイ/プロジェクター機器の電源を切ります。

PoE から給電している場合、ネットワークスイッチから PoE 給電をオフにするか、LAN ケーブルを抜く、またはネットワークスイッチの電源を切ります。

2. ソース機器の電源を切ります。
3. 本機に接続する IR ケーブルなどを外します。

# Dante Controller ソフトウェア

## 概要

本機は、Dante Controller ソフトウェア(以下 “Dante Controller”)を使用して映像、オーディオ、USB、シリアル通信のルーティングおよび設定を行います。

## ダウンロード先

Dante Controller は、Audinate 社のウェブサイトから無償でダウンロードできます。ご利用の PC(Windows または macOS)に合わせてインストールしてください。

<https://www.getdante.com/ja/products/software-essentials/dante-controller/>



Dante Controller™

Dante Controller UI Version: 4.14.0.17

Dante Controller Package Version: 4.14.0.17

Java version: 17.0.2

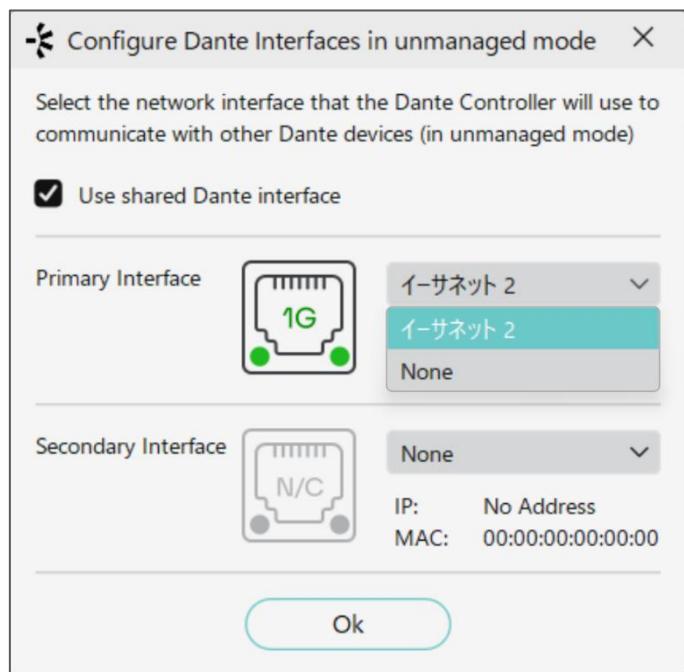
Common version: 4.1.0

Dante Discovery version: 1.3.3

※ 上記バージョンでの Dante Controller の操作方法を説明します。ご利用のバージョンによって設定画面、項目が異なる場合があります。予めご了承ください。

## ネットワークインターフェースの選択

Dante Controller を初めて起動するとプライマリーネットワーク、セカンダリーネットワークの選択画面が表示されます。DAV-03SBL 及びその他の Dante AV Ultra 製品は[Dante リダンダンシー]に対応していませんので、セカンダリーネットワークの設定は使用しません。(Dante リダンダンシーに対応した Dante Audio 機器を同じネットワークで運用する場合のみセカンダリーネットワークを設定してください。)



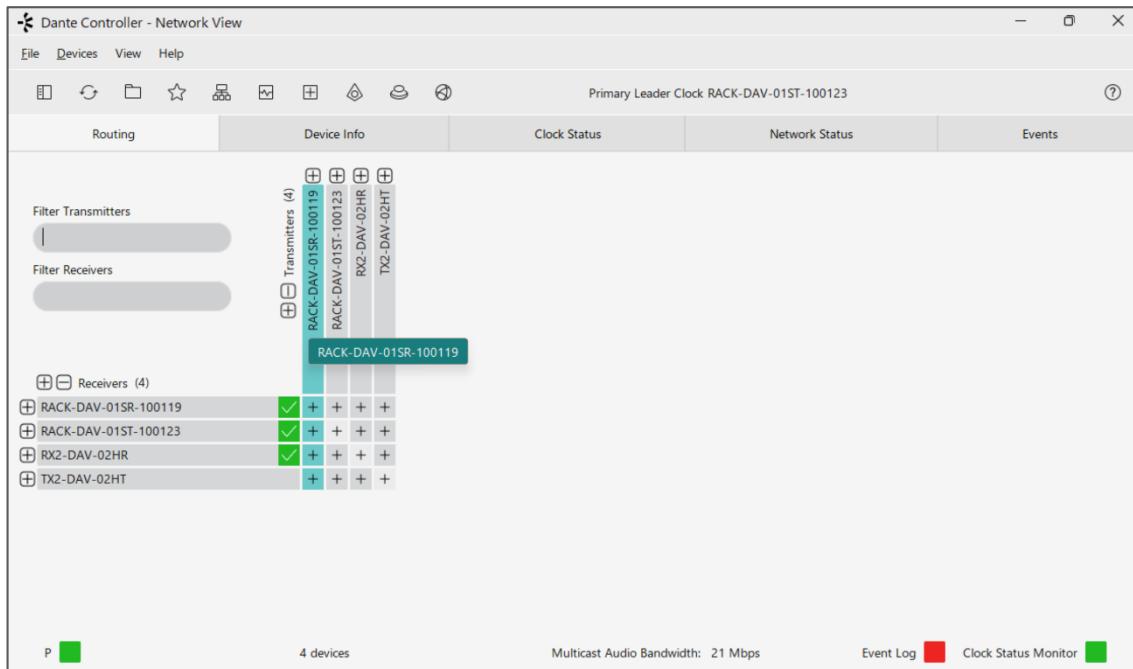
※次回以降 Dante Controller を起動したときには本選択画面は表示されません。再度設定しなおす場合は Dante Controller の以下アイコンをクリックしてください。



## デバイス検知

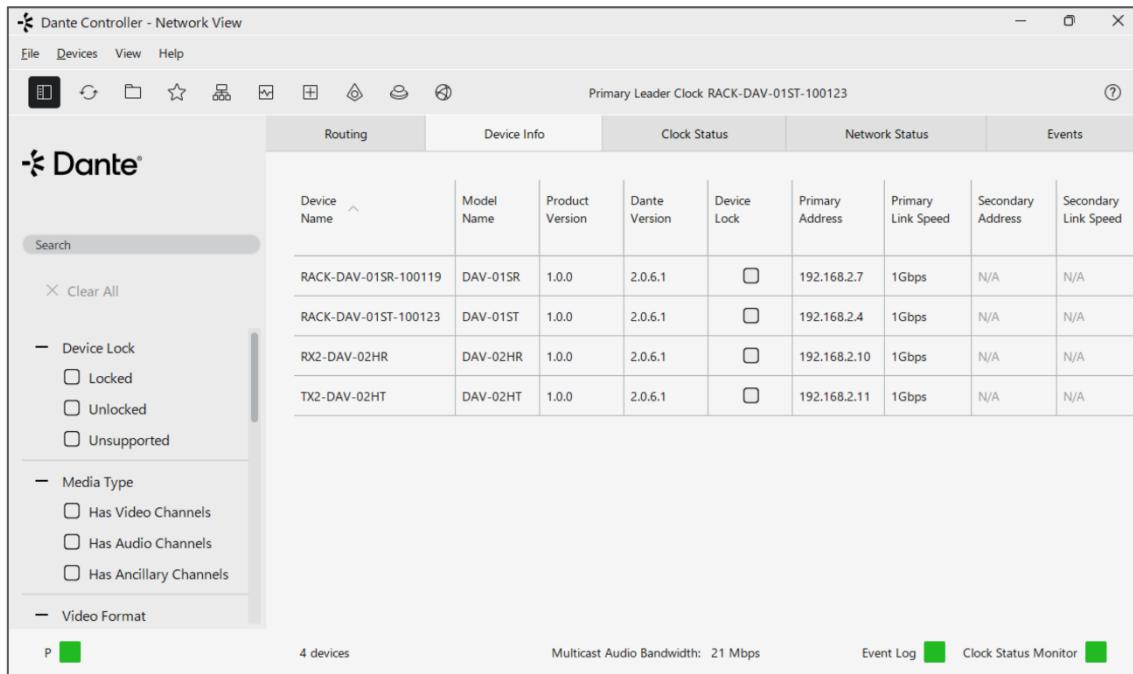
DAV-03SBL を Dante ネットワークに接続すると Dante Controller は自動的に本機を検知します。

DAV-03SBL の製品出荷時は”MODEL NAME-MAC ADDRESS 下 6 桁”の名称で認識されます。(例: DAV-03SBLHR-100119) \*デバイス名は最大 31 文字



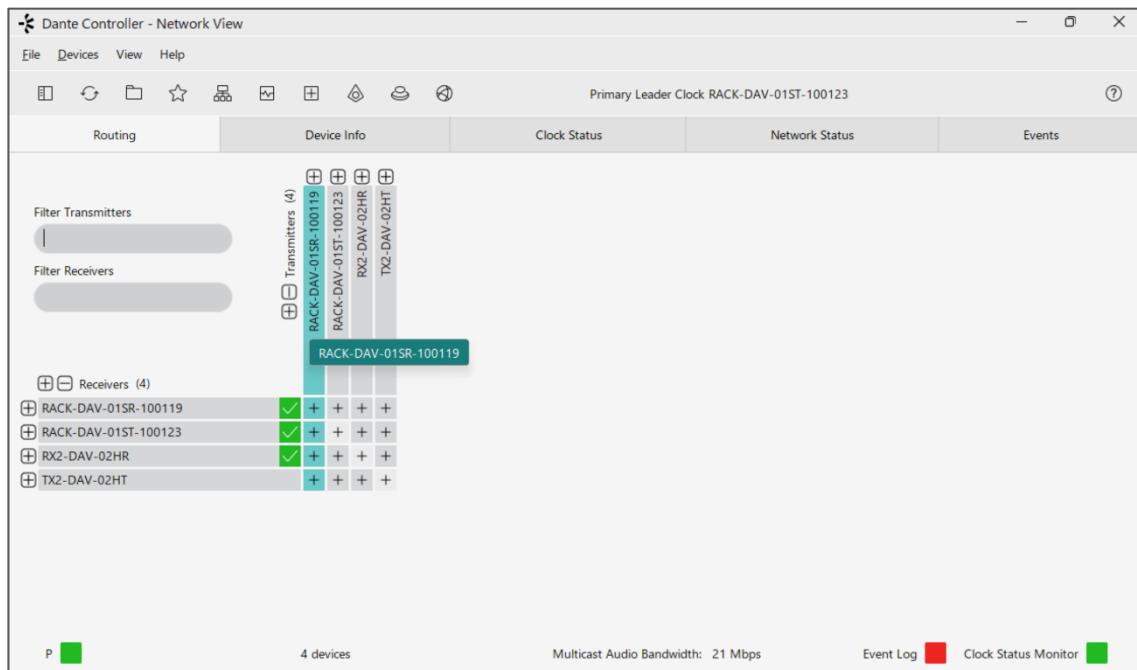
## Device Info

Device Info タブにてネットワーク全体の機器設定と概要が確認できます。デバイス名やモデル名、IP アドレスなどを確認したいときに使用します。

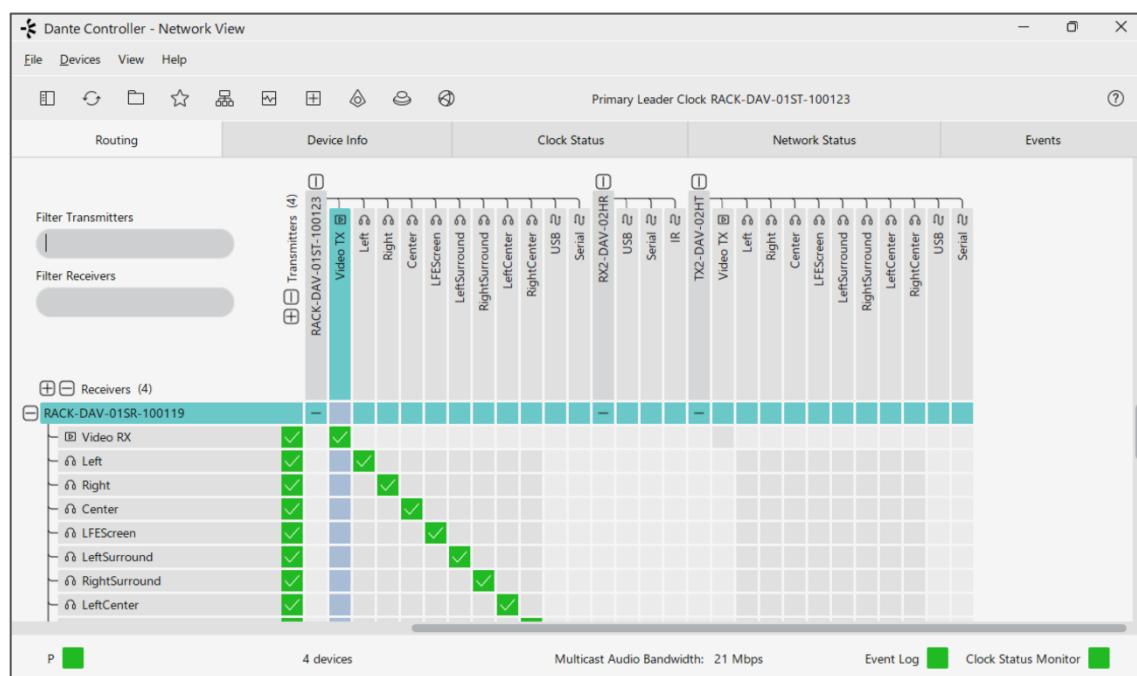


## ルーティング

Dante Controller の「Routing」タブから Dante エンコーダ(Transmitters)または、デコーダ(Receivers)のルーティング設定を行ってください。



Routing 画面では各デバイスがマトリクス状に配置されます。[+]ボタンをクリックすると各デバイスが伝送できる信号(やチャンネル)を表示します。(再度隠したい場合は[-]ボタンをクリックしてください。)



DAV-03SBL では、以下のシグナルをルーティング可能です。

- ・映像信号[Video] \*[Colibri]コーデック対応
- ・音声信号 8CH [Left]、[Right]、[Center]、[LFEScreen]、[LeftSurround]、  
[RightSurround]、[LeftCenter]、[RightCenter]
- ・IR 信号[IR]
- ・USB HID 信号[USB]
- ・シリアル信号[Serial] \*SDM ホストへは UART 信号として通信します。

## ご注意

Dante Controller で設定する PC は必ず Dante 機器と同じネットワークに接続してください。Dante エンコーダおよびデコーダは、Wi-Fi 接続でのデータ転送には対応しておりません。Dante 機器は必ず LAN ケーブルを介してネットワークへ接続してください。接続する PC は Wi-Fi 接続を無効にすることを推奨します。

## ヒント

HDCP 対応コンテンツや機器を接続している場合に、Dante Controller のサブスクリプションを切り替えると HDCP 暗号化キーのハンドシェイクが正常に動作しなくなり、映像が映らなくなることがあります。

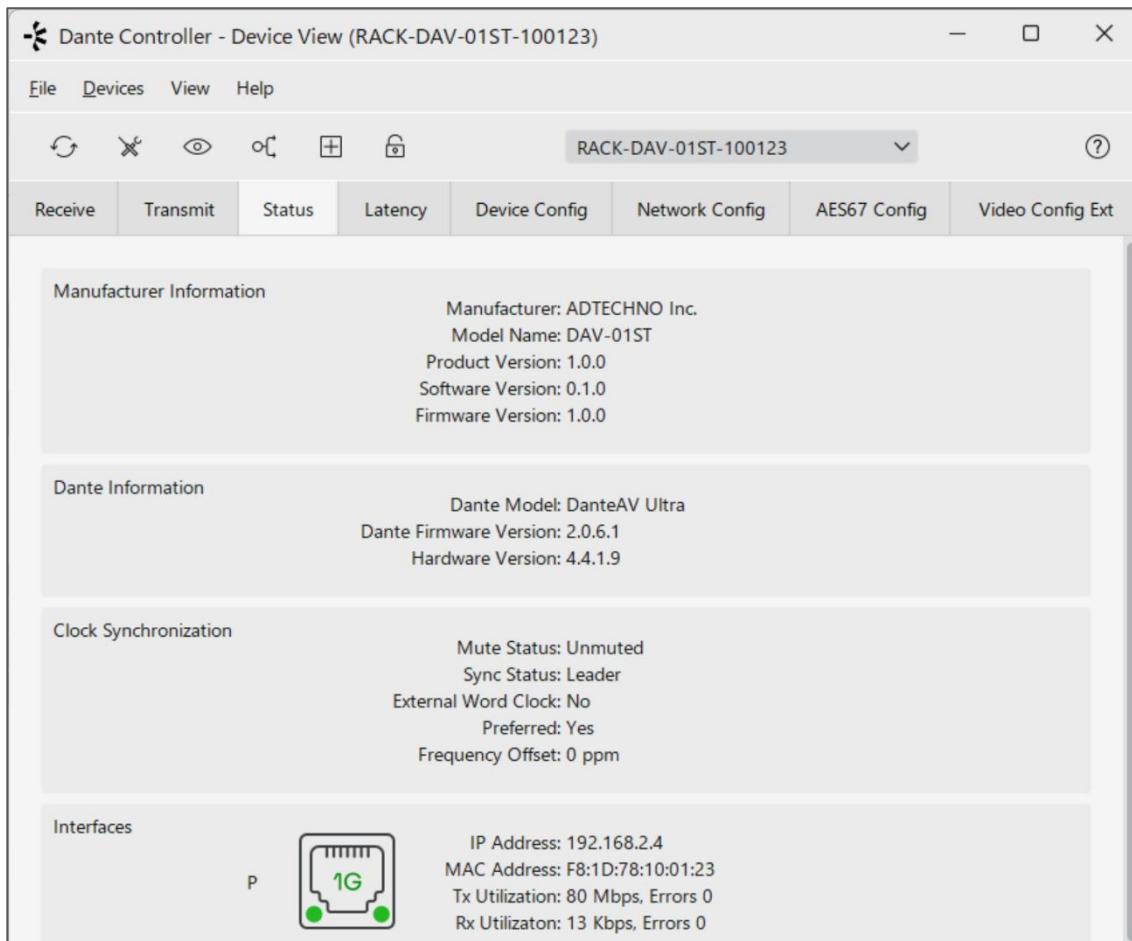
その場合は、再度暗号化キーをハンドシェイクさせるために接続ケーブルの抜き差しを行ってください。

## デバイス詳細設定

Routing タブや Device Info タブなど(Event タブ以外)から、詳細設定したいデバイス名をダブルクリックすると[Device View]画面が新しいウィンドウで表示されます。

### デバイスステータスの確認

[Status]タブから当該デバイスの各種情報が確認できます。



\*[Manufacturer Infomation]と[Dante Infomation]の各項目、IP アドレス、MAC アドレスが確認可能です。

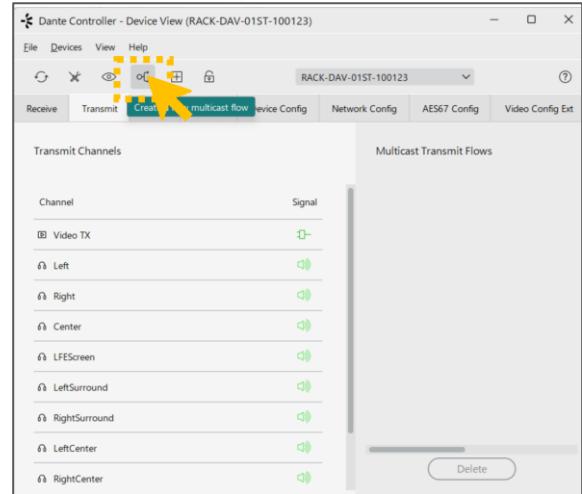
## マルチキャストフローの設定

映像、音声信号をマルチキャスト伝送するにはエンコーダ側の[Transmit]タブから次の手順で設定する必要があります。詳細はエンコーダ側の取扱説明書をご参照ください。

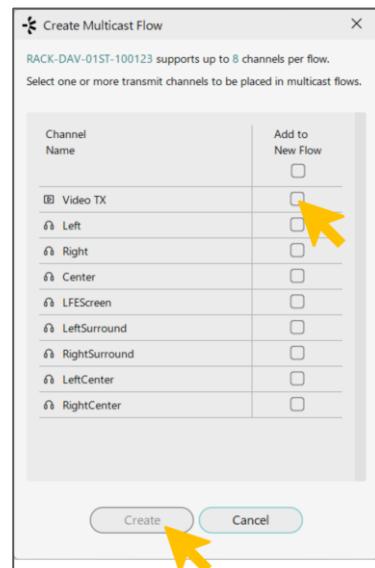
\*設定しない場合、ユニキャスト伝送となります。DAV-03SBL 側では設定できません。

### 1. アイコンをクリック

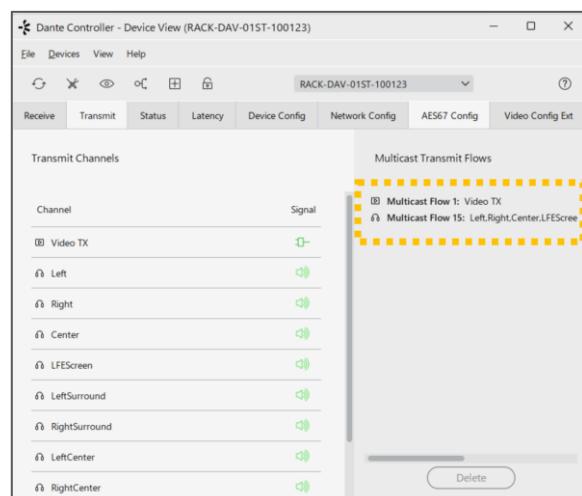
Create Multicast Flow ウィンドウが新たに表示されます



### 2. Create Multicast Flow ウィンドウ内から マルチキャスト伝送したい信号を選択して Create ボタンをクリック



### 3. マルチキャストフローが追加されたことを確認

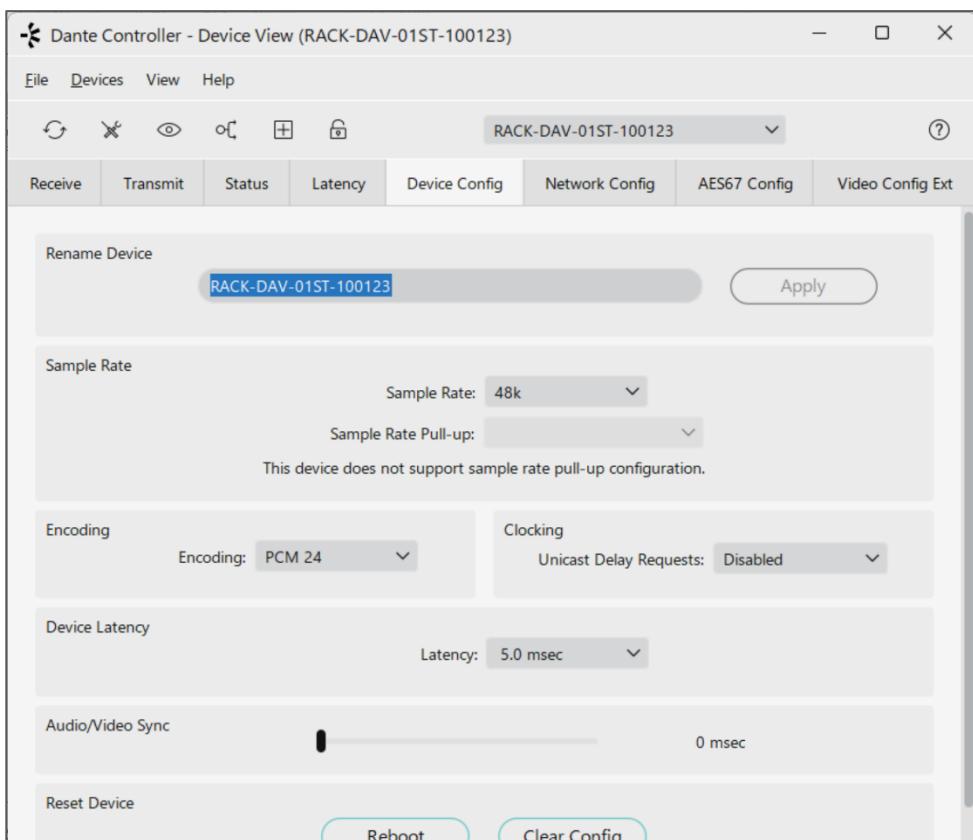


## デバイスの各種設定変更

[Device Config]タブでは各種デバイス設定を変更できます。

\*デバイス名は任意の 31 文字へ変更可能です。

\*Dante では信号伝送するデバイス間で、サンプルレート、エンコーディング、レイテンシーを一致させる必要があります。全てのデバイスで設定値が揃っていることをご確認ください。



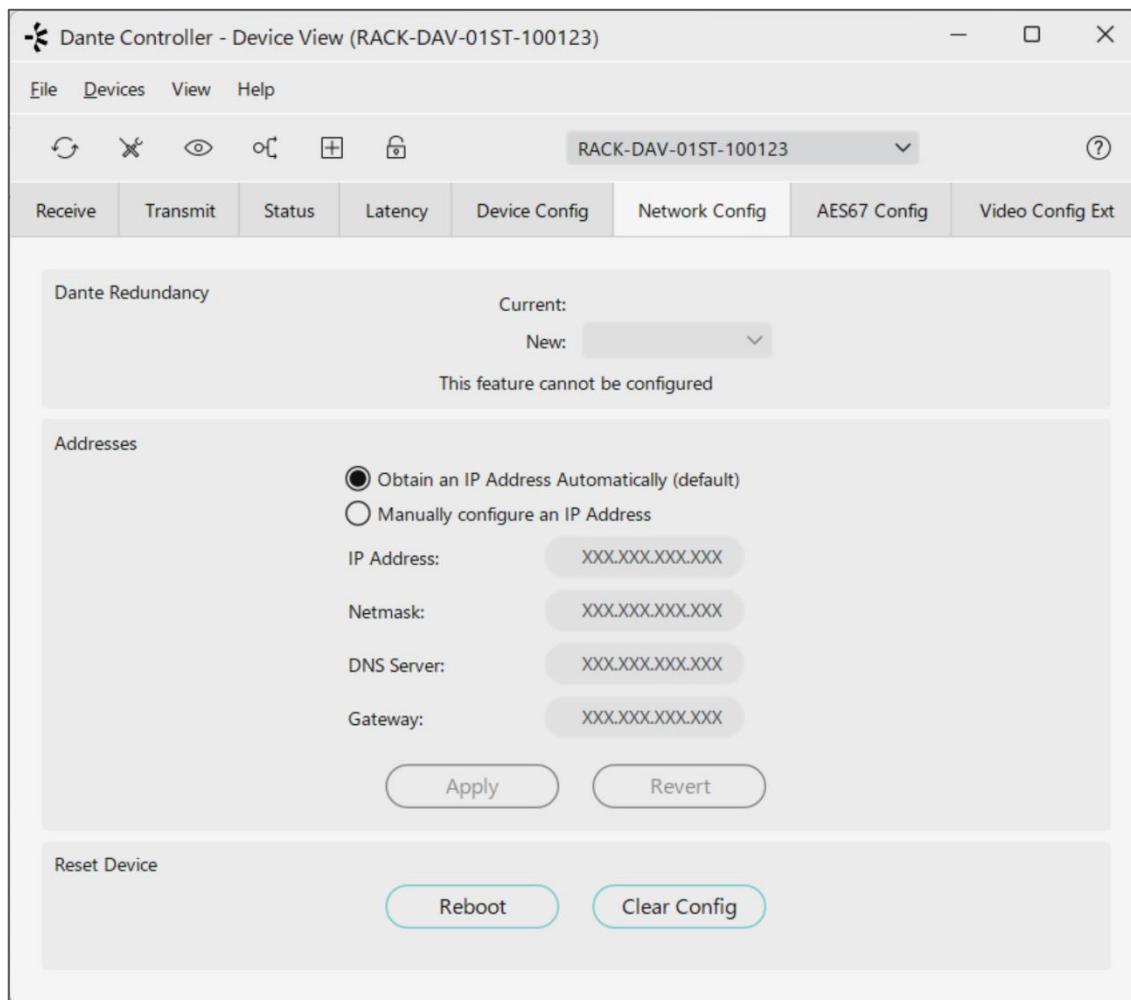
※ 各種設定を変更した場合は、正しく適用するために再起動を推奨します。

## IP アドレスと DHCP 設定

[Network Config]タブではネットワークの動的、静的設定を変更できます。Dante では通常 DHCP による動的ネットワークが推奨されており、本項目を変更する必要はありません。

必要に応じて静的 IP アドレスを割り当てる場合は、画面に従って設定をしてください。

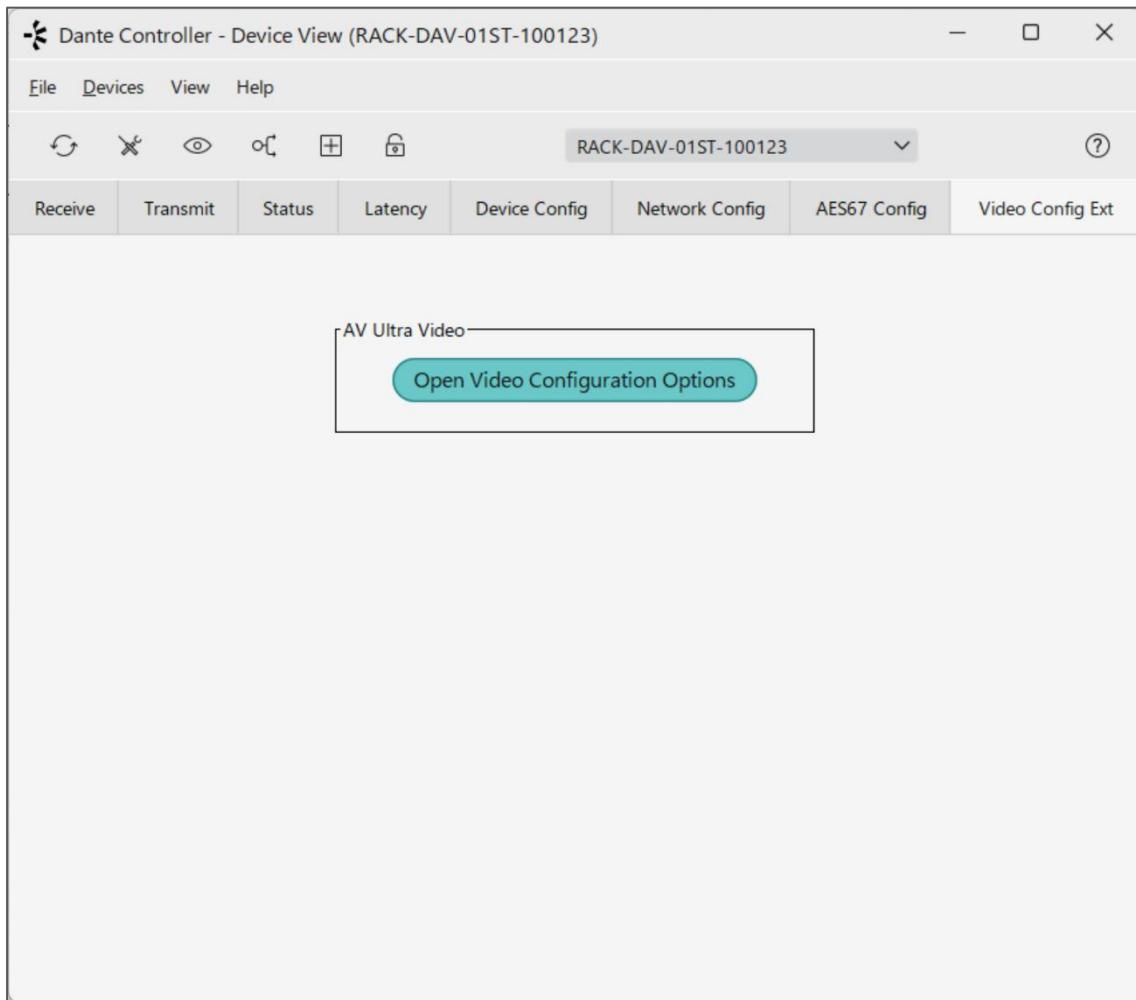
\*ネットワーク設定を変更した場合、再起動が必要です。



## WEB GUI 設定

[Video Config Ext]では、解像度変更やシリアル信号のボーレートなどが設定できます。

[Open Video Configuration Options]または  をクリックすると PC で設定された既定ブラウザが立ち上がります。 詳細設定内容は [WEB GUI 設定](#)をご参照ください。



# WEB GUI 設定

## 概要

Dante AV Ultra ソリューションの一部の設定は WEB GUI からのみ変更可能です。

これらの項目は今後の Dante アップデートにより Dante Controller に機能が移行される可能性があります。

(2025 年 10 月現在)

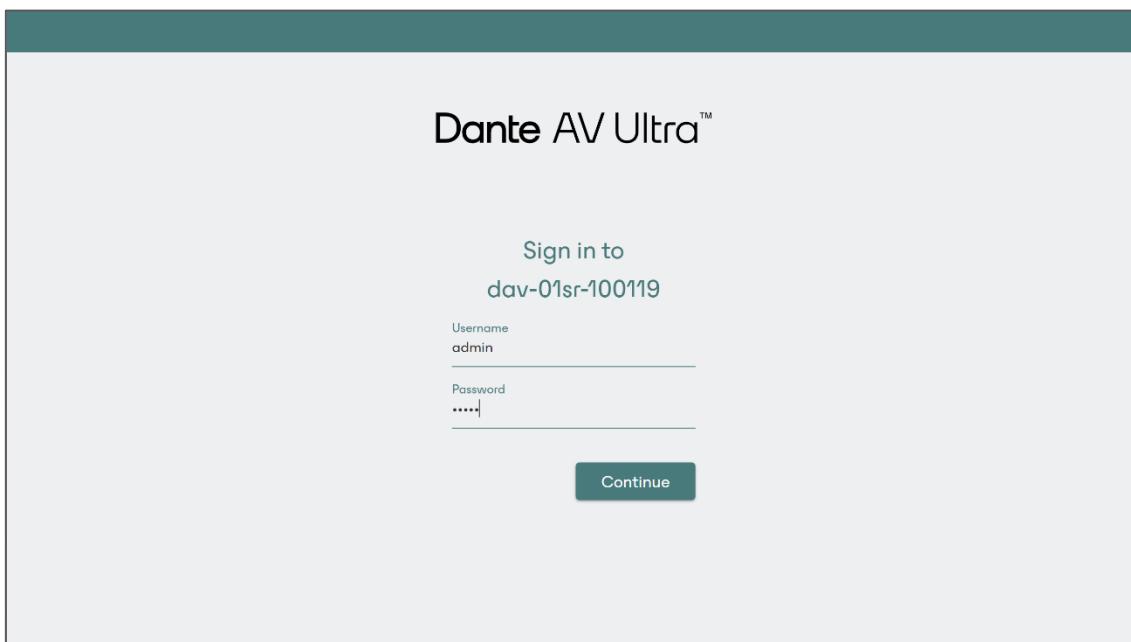
## ログイン方法

以下の手順で WEB GUI 画面へ移動します。

1. Dante Controller 上で設定したいデバイスの[Device Config]を開く
2. [Video Config Ext]タブを選択し[Open Video Configuration Options]ボタンをクリックする
3. PC で設定されている標準ブラウザにて WEB GUI 画面が立ち上がる
4. 以下のアカウントにてログインをする（アカウント ID とパスワードは変更できません）

**ID:admin**

**PASS:admin**



# デコーダ設定

## HDMI Output

出力されている映像信号と音声信号の情報が確認できます。

The screenshot shows the Dante web interface with the following details for Output 1:

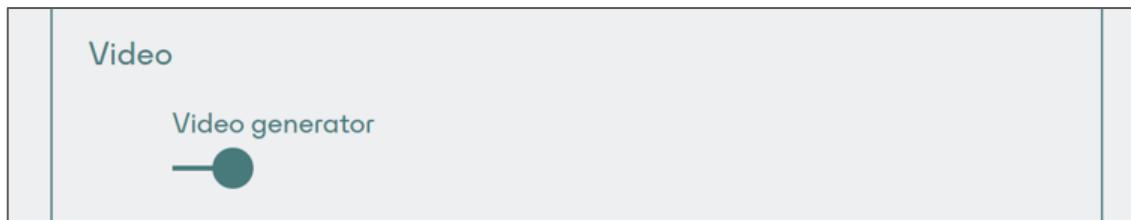
- Name:** hdmi\_output1
- HDCP:** Encrypted (green dot)
- Version:** 2.2
- Negotiated version:** 2.2
- EDID:** A long hex string representing the EDID information.
- Video:**
  - Video generator:** Off (radio button)
  - Input Status:** No active video
  - Output Status:** No active video
  - HDR:** Off (radio button)
  - Stretch/crop mode:** keep aspect ratio
  - Framerate:** auto
  - Resolution:** auto
- Video wall:** Off (radio button)
- Fast Switching:**
  - Enable:** Off (radio button)
  - Timeout (s):** 0
- Audio:**
  - Status:** LPCM, 24-bit, 8 ch, 48kHz
  - Analog output:** Off (radio button)

A **SAVE** button is located at the bottom of the configuration panel.

## Video generator

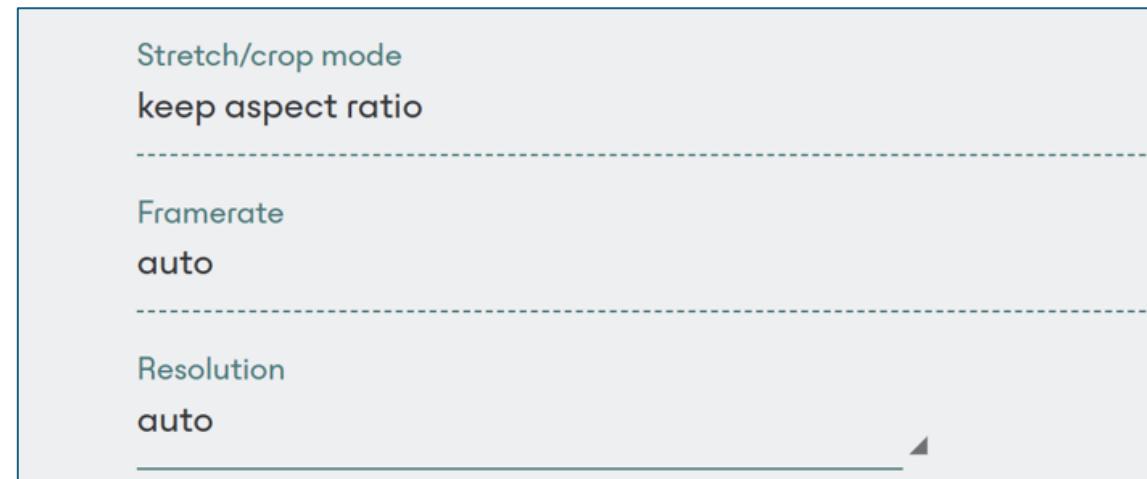
カラーパターン出力機能を設定できます。デコーダ側でカラーパターン画像を生成します。\*エンコーダが無くても出力可能です。

[Video generator]トグルスイッチを有効にしてください。



## Resolution

DAV-03SBL から出力する映像の解像度を変更(スケーリング)します。[Resolution]の項目をプルダウンして選択できます。映像出力で映らないなどの問題が発生しない限り、設定の変更はお勧めいたしません。iPad などの一部 Apple 社製品で映像が映らないなどの現象が発生した場合は、3840x2160 または 1920x1080 の設定をお試しください。



項目	設定内容
input	入力されている解像度のまま出力します。※非推奨
auto	内部チップにより自動で最適な解像度を設定します。※推奨 出荷時は本設定となっています。
選択できる解像度	選択した解像度で出力します。選択肢は以下の通りです。 <u>4096x2160/3840x2160/1920x1200/1920x1080/</u> 1680x1050/1600x900/1400x1050/1440x900/ <u>1280x1024/1280x800/1280x768/1280x720/</u> <u>1024x768</u> ※DAV-03SBL のサポート解像度は <u>対応フォーマット一覧</u> をご覧ください。サポート外の選択肢については必ず事前にお試しください。

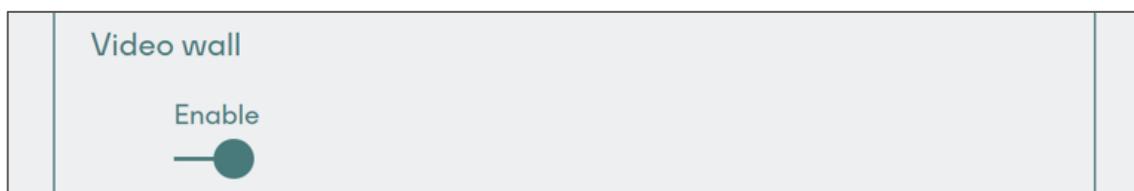
## Video wall

ビデオウォールモードでは、複数のディスプレイを組み合わせて、より大きな表示領域を作り出します。1台のエンコーダからビデオストリームを複数のデコーダに送信し、各デコーダが全体画像の一部分を表示します。

1つのビデオストリームが複数のデコーダに送信されるため、ビデオウォールモードはエンコーダ側でマルチキャストフローを設定する必要があります。マルチキャストフローの設定方法については、エンコーダ側の取扱説明書をご参照ください。

### Enable

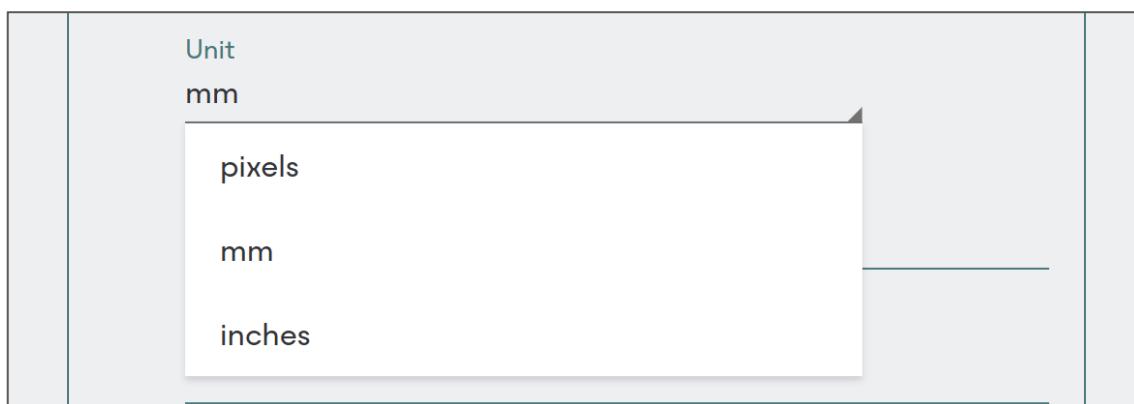
事前にエンコーダ側のマルチキャストフローを設定した上で[Enable]トグルスイッチを有効にしてください。



### Unit

ビデオウォールでのディスプレイサイズと位置設定は、3つの異なる単位から選択できます。

項目	設定内容
pixels	元の画像解像度に対するサイズと位置をピクセル単位で指定
mm	ビデオウォールの合計サイズをミリメートルで指定
inches	ビデオウォールの合計サイズをインチで指定



## パラメータ設定:pixels

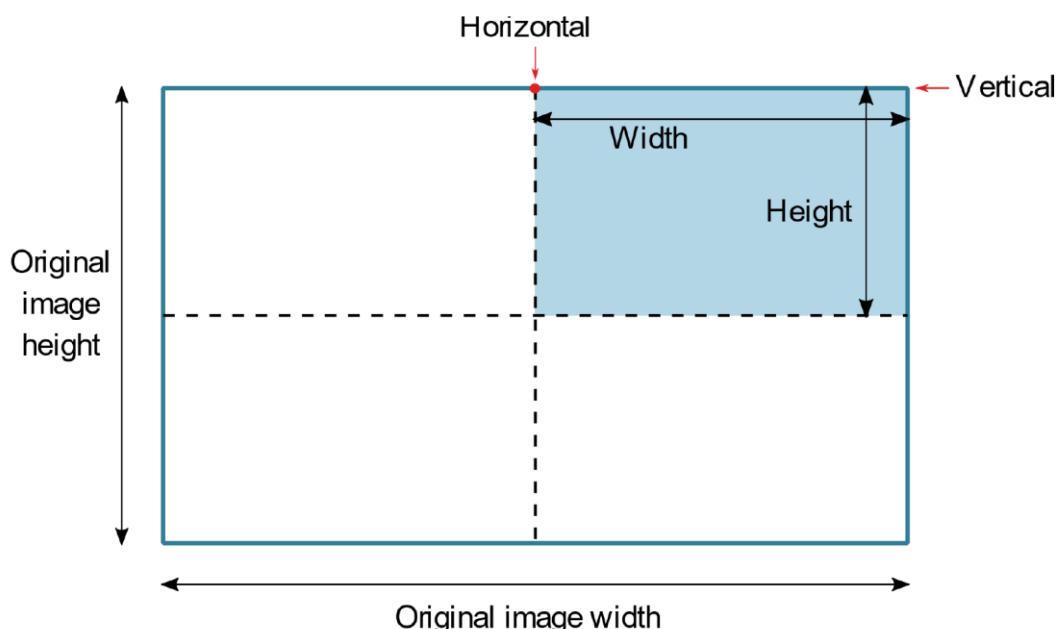
Pixels を選択した場合、以下の 4 つのパラメータを指定する必要があります。

項目	設定内容
Width	表示する元画像のピクセル数
Height	表示する元画像のライン数
Horizontal	元画像の最初に表示されるピクセルの水平位置
Vertical	元画像の最初の行の垂直位置

Width 1920
Height 1080
Horizontal 0
Vertical 0

Width と Height は、表示するオリジナル画像の大きさを定義します。Horizontal と Vertical は、このデコーダ(検査中の個体)での相対位置(最初のピクセル位置)を定義します。

\*通常のビデオウォール構成では Width と Height は全てのデコーダで同じですが、Horizontal と Vertical はデコーダの個体ごとに異なります。



## パラメータ設定:mm / inches

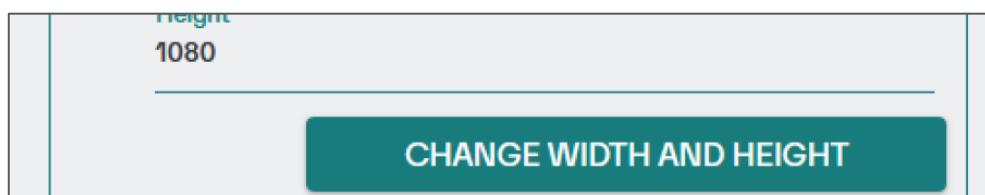
mm または inches を選択した場合、ビデオウォールの合計サイズのみを(mm またはインチ 単位で)指定する必要があります。

項目	設定内容
Total display width	ビデオウォール全体の物理的な幅寸法
Total display height	ビデオウォール全体の物理的な高さ寸法

The screenshot shows a configuration window with four input fields:

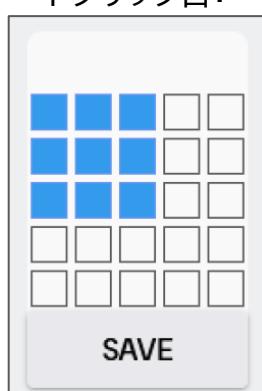
- Total display width:** 3840
- Total display height:** 2160
- Width:** 1920
- Height:** 1080

入力した数値を反映させるには[CHANGE WIDTH AND HEIGHT]ボタンをクリックします。その後、自動でポップアップウィンドウが表示されます。

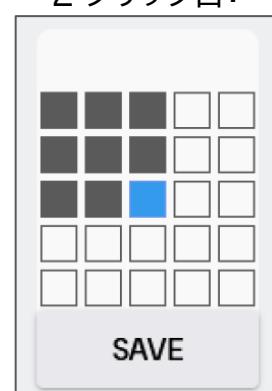


最初にクリックした範囲でビデオウォールを構成します。2回目にクリックした位置に本デコーダ(設定中の固定)をアサインします。

1 クリック目:



2 クリック目:

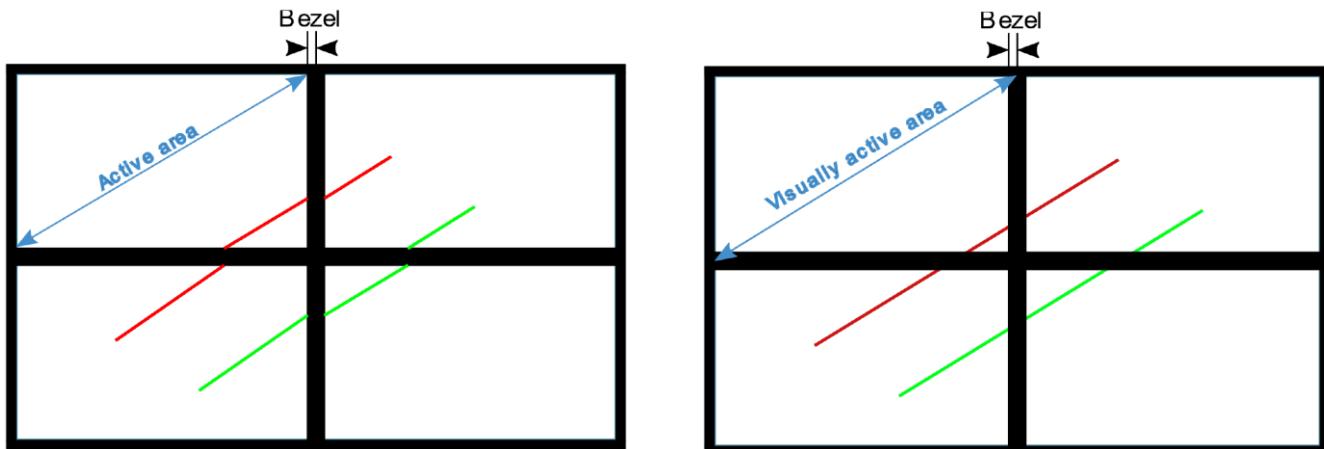


範囲と個体のアサインを設定したら[SAVE]をクリックして反映させます。

## Edge Compensation

ビデオウォール構成時にディスプレイのベゼル部分を考慮した表示設定ができます。

市販のほとんどのディスプレイにはベゼルが存在します。そのため、ビデオウォールを形成すると、各ディスプレイのアクティブラリヤ間に大きなギャップが生じます。



### 設定方法

1. [Edge compensation]をドロップダウンし[bezel compensation]を選択
2. [Top]に上辺ベゼル補正したい値を入力
3. [Bottom]に底辺ベゼル補正したい値を入力
4. [Left]に左辺ベゼル補正したい値を入力
5. [Right]に右辺ベゼル補正したい値を入力
6. [SAVE]ボタンをクリックして設定を適用

**Edge compensation****bezel compensation****Top****0****Bottom****0****Left****0****Right****0****Fast Switching**

Dante Controller でコンテンツのサブスクリプション切替の際に、ブラックアウトの時間を減らすことができるファストスイッチングモードのオン(Enable)/オフ(Disable)が設定できます。

オンにすると切替時のブラックアウト(映像が出ない黒画面状態)の時間を短縮するまたは限りなく 0 に近づけることができます。ただし本モード有効時は通常よりも 1 フレームの伝送遅延が発生します。

\*HDCP 対応コンテンツと HDCP 非対応コンテンツが混在すると切替に時間がかかります。

設定をするには、[Enable]トグルスイッチを有効にしてください。

**Fast Switching****Enable**  
**Timeout (s)****0**

# 共通設定

## System information

通常は使用しません。デバイスのシステム情報を確認できます。

\*LEDs を変更すると本機の前面 LED ランプが正しく動作しなくなります。必ず ON に設定してください。

The screenshot displays the 'System information' tab of the Dante configuration interface. The page includes the following sections:

- Firmware version:** 2.0.6.1
- FPGA:** xc7z030-fbg484
- Model:** DAV-ULTRA
- Description:** N/A
- Location:** N/A
- Date/Time:** 18-12-2024 14:55:37
- Uptime:** 2 days 6 hours 18 minutes
- Board temperature:**
  - °C: 43.00 °C
  - °F: 109.40 °F
- Die temperature:**
  - °C: 63.37 °C
  - °F: 146.06 °F
- Hostname:** DAV-01ST-100123
- NTP server:** pool.ntp.org
- LEDs:** A status indicator showing one LED is active.

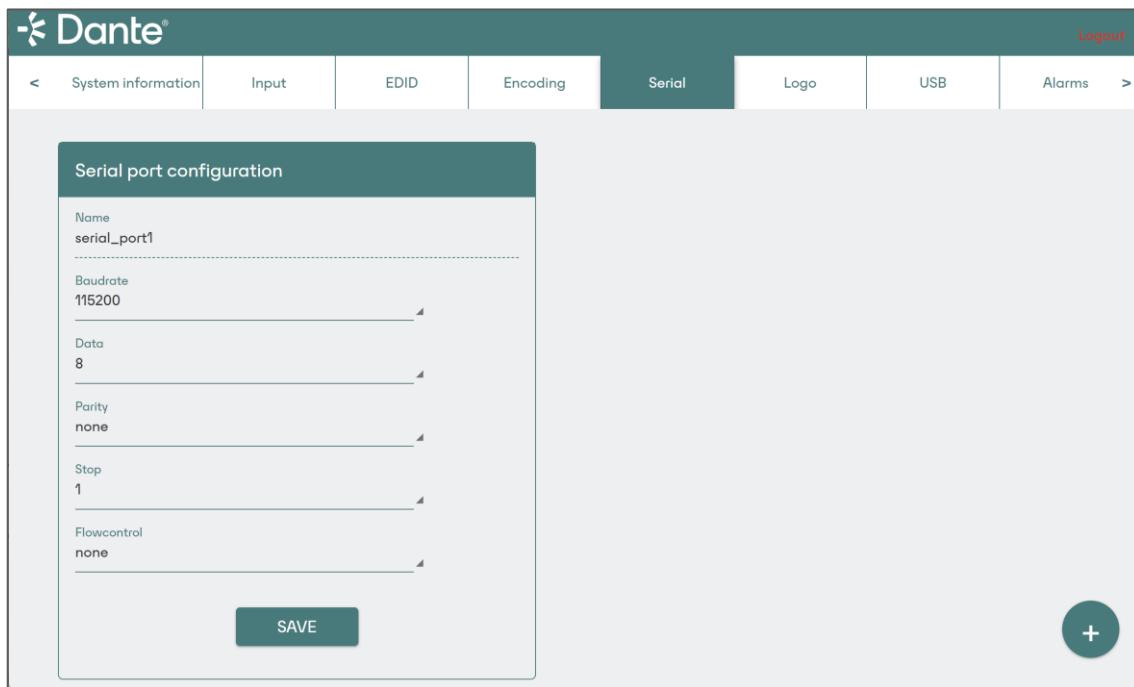
At the bottom of the page are several buttons:

- SET DATE/TIME
- FACTORY RESET
- IDENTIFY
- DEBUG
- REBOOT
- SAVE

## Serial

シリアル通信のボーレートなどを設定します。必ず伝送する機器間での設定を一致させてください。  
 ( 太字下線 が出荷時の既定値です)

項目	設定内容
Baudrate	115200 / 57600 / 38400 / 19200 / <u>9600</u>
Data	<u>8</u> / 7 / 6
Parity	<u>none</u> / odd / even / mark / space
Stop	<u>1</u> / 1.5 / 2
Flowcontrol	<u>none</u> / xonxoff / hw



The screenshot shows the Dante serial port configuration interface. The top navigation bar includes links for System information, Input, EDID, Encoding, Serial (which is selected), Logo, USB, and Alarms. The main content area is titled "Serial port configuration" and contains fields for Name, Baudrate, Data, Parity, Stop, and Flowcontrol. The "Name" field is set to "serial\_port1", "Baudrate" to "115200", "Data" to "8", "Parity" to "none", "Stop" to "1", and "Flowcontrol" to "none". A "SAVE" button is located at the bottom left of the configuration panel, and a "+" button is located at the bottom right.

Name	serial_port1
Baudrate	115200
Data	8
Parity	none
Stop	1
Flowcontrol	none

## USB

USB デバイスが検知されたときに情報を表示します。

### 未検知:

The screenshot shows the Dante interface with the following navigation bar: < System information | Input | EDID | Encoding | Serial. Below the navigation bar, there is a green header bar with the text "USB Devices". The main content area is currently empty, indicating no detected USB devices.

### 検知:

The screenshot shows the Dante interface with the following navigation bar: < System information | Input | EDID | Encoding | Serial. Below the navigation bar, there is a green header bar with the text "USB Devices". Underneath, detailed information about a detected device is listed:  
Microsoft? Nano Transceiver v1.0  
USB Device Path  
2:1:3  
Vendor ID  
045e  
Product ID  
07b2  
bcdDevice  
0744

## Alarms

サポート用です。通常は使用しません。

## License

サポート用です。通常は使用しません。

## Upgrade

サポート用です。通常は使用しません。

# よくある質問 FAQ

故障かな？と思ったら、お問い合わせになる前に、まず以下の点をご確認ください。

確認しても問題が解決しない場合はお買い上げ販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

## DAV-03SBL の電源がつかない

ネットワークスイッチから十分な [PoE 電源供給](#)しているかをご確認ください。

ETH1 に接続していることをご確認ください。

SDM ホスト機器は電源供給される設定になっているか、各メーカーの取扱説明書をご確認ください。

[電源モード切替用スイッチの設定](#)が使用方法に合っていることをご確認ください。

## 映像が出ない、途切れる

下記の項目をご確認ください。

- 入力ソース機器から 映像信号が正常に出ていること
- エンコーダとデコーダが [\[Colibri\]コーデック](#)に対応していること
- エンコーダとデコーダの [デバイス設定値](#)が一致していること
- 伝送するビデオストリームに合わせた Max bit rate 値を設定していること
- 受信機と接続しているディスプレイ機器が正常に映像を映せること
- 本機の入力設定がソース機器と合っていること
- 必要な [ネットワークスイッチの設定項目](#)をすべて正常に設定していること
- 伝送する映像ストリーム数に応じてネットワークスイッチ間のアップリンク [接続帯域幅](#)を確保していること
- iPad などの一部 Apple 社製品では [WEB GUI](#) から [Resolution](#) の変更をお試しください。
- HDCP 対応機器を接続すると自動で暗号化キーをハンドシェイクします。サブスクリプション切替時は再ハンドシェイクが必要な場合があるため、ケーブルの抜き差しをお試しください。
- Intel SDM スロットへの伝送方法が HDMI 信号であることをご確認ください。

## DAV-03SBL の起動が途中で止まる

ディスプレイ/プロジェクター側の自動電源 OFF 機能が 60 秒以上となるように設定してください。

\*DAV-03SBL は起動から映像出力まで約 45 秒かかります。ディスプレイによっては初期設定で「No Signal 時に 10~20 秒で自動電源 OFF となる」製品がございます。DAV-03SBL が完全に起動するまで電源が切れないように各ディスプレイ/プロジェクターの設定をご調整ください。

## Dante Controller に検出されない

下記の項目をご確認ください。

- 本機の [インジケーター](#)の点灯が正常であること
- 接続しているネットワークスイッチの DHCP が有効になっていること
- Dante Controller で設定する PC は本機と同じネットワークセグメントに接続されていること
- Dante Controller ソフトウェアのバージョンが最新であること

Dante Controller で設定する PC は必ず Dante 機器と同じネットワークに接続してください。Dante エンコーダ(送信機)およびデコーダ(受信機)は、Wi-Fi 接続でのデータ転送には対応しておりません。Dante 機器は、必ず LAN ケーブルを介してネットワークへ接続してください。接続する PC は Wi-Fi 接続を無効にすることを推奨します。

## Dante コントロールソフトウェアでデバイス名が赤い文字で表示される

Dante Controller ソフトウェアで設定する PC のアドレスと Dante 機器の IP アドレスのネットワークアドレスが異なる場合、デバイス名が赤い文字で表示されます。Dante Controller で設定する PC は必ず Dante 機器と同じネットワークに接続してください。

## Intel SDM ディスプレイ/プロジェクターへ Ethernet 経由でアクセスできない

DAV-03SBL が採用する Intel SDM rev.2.3 では Ethernet 用ピンが追加されていますが、機器によっては非対応の場合があります。Intel SDM のリビジョンにつきましては各メーカーまでお問い合わせください。

## サポート専用問い合わせ先

・サポート専用メールで問い合わせの前に…

「FAQ よくある質問」をご参照ください。

それでも治らない場合:

**WEB 問い合わせ :** [www.ad-techno.com/support/info/contact/](http://www.ad-techno.com/support/info/contact/)

**メール問い合わせ :** [support@ad-techno.com](mailto:support@ad-techno.com)

受付時間:月～金 9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始を除く

お問合せの際は以下内容をご確認下さい。

- ・弊社製品の型番及びシリアル番号
- ・ご質問内容(症状)

### ご注意

本製品のサポートは日本国内での対応となります。国外での使用に関して発生した不具合に関してはいかなる責任も負いかねます。

また日本国外からの問い合わせ、技術サポートは行っておりません。

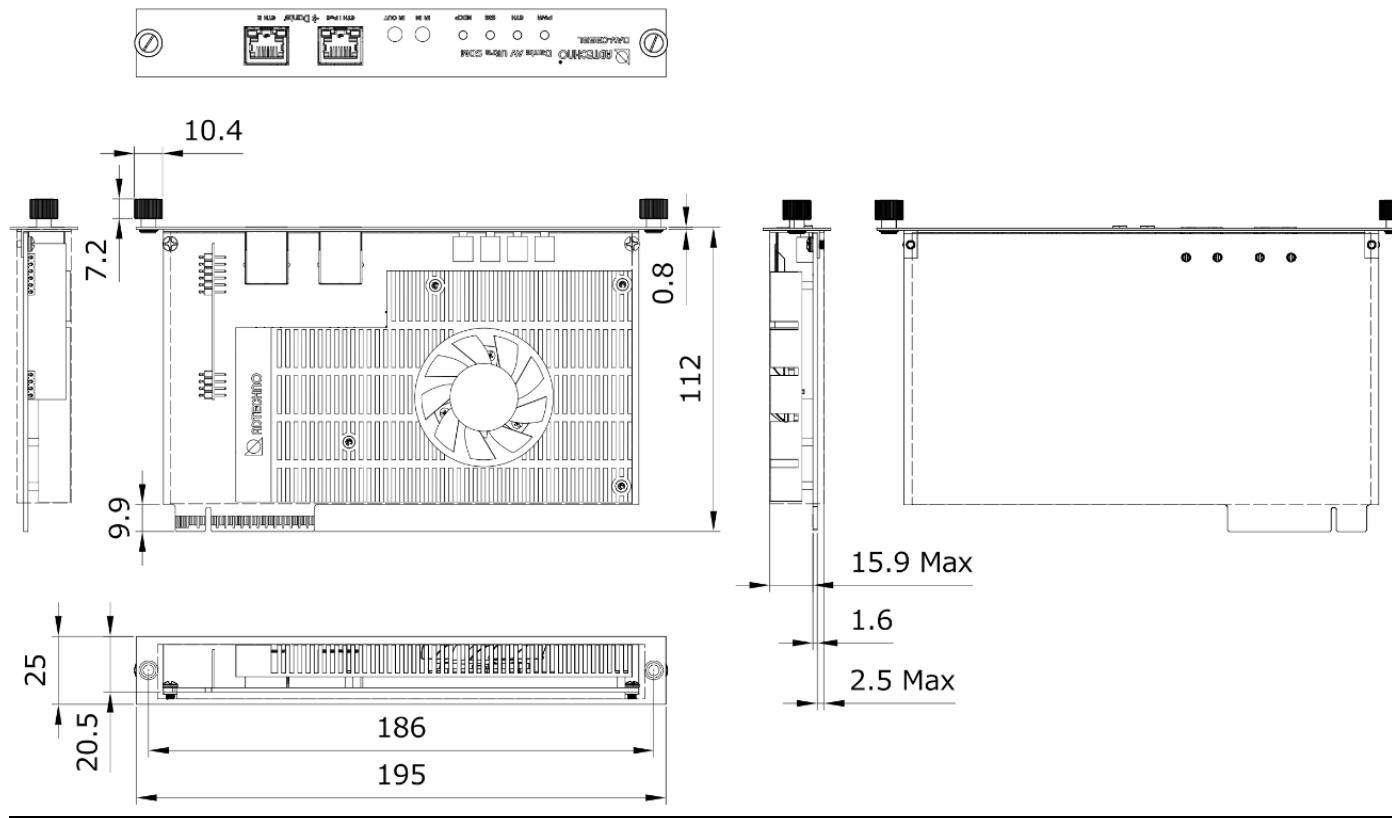
## 主な仕様

製品型番	DAV-03SBL	
映像/音声 入力端子	LAN	RJ-45(PoE 対応) × 1
映像/音声 出力端子	SDM LAN HDMI	Intel SDM Golden Finger × 1 RJ-45 × 1 *デイジーチェーン用 HDMI 2.0 × 1
SDM I/O	USB シリアル通信 Ethernet	USB HID × 1 RS-232 1000BASE-T
その他 I/O		3.5mm ステレオジャック(メス)[IR 受信] × 1 3.5mm モノラルジャック(メス)[IR 送信] × 1
寸法		195(W) × 112(D) × 25(H)mm *突起物含まず
重量		約 350g
電源		PoE IEEE802.3af または SDM ホスト
消費電力		12W
動作温度		0 ~ 55 °C
保存温度		-40 ~ 60°C
相対湿度		10~90%※結露無き事
内容物		本体 / クイックガイド
製品保証		1 年間

※ 相互運用性を確保するためには、エンコーダとデコーダの両方で同じビデオコーデックを使用する必要があります。※ Audinate®、Audinate のロゴ及び Dante® は、Audinate Pty Ltd の登録商標です。※ Intel® Smart Display Module 及び Intel® SDM は、Intel の登録商標です。※ 記載されているソフトウェア名・製品名・サービス名などは各社の商標、または登録商標です。※外観、および各仕様につきましては予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。※全ての機器との動作を保証するものではありません。

# 外形寸法

## DAV-03SBL:



# 対応フォーマット一覧

## SDM

ビデオ規格	解像度	周波数(Hz)
VESA	1024x768	60
	1600x1200	60
	1920x1200p	60
	2560x1600	60
576p	720x576	50
720p	1280x720	50/59.94/60
1080i	1920x1080	50/59.94/60
1080p		23.98/24/25/29.97/30/50/59.94/60
4K UHD	3840x2160*	23.98/24/25/29.97/30/50/59.94/60
4K DCI	4096x2160*	23.98/24/25/29.97/30/50/59.94/60

\*Y.Cb.Cr4:2:0 は非対応です。\*4K は 8bit のみ対応です。\*576P は、4:3 表示になります。

## オプション

### 専用 IR 送受信ケーブル(送受信セット)

型番	HDIR-G
JAN code	4582169233001
ケーブル長	1,500mm
内容物	送信ケーブル x 1 / 受信ケーブル x 1